10. 安全について

地域の子どもの安全は地域の手で

子どもたちを犯罪から守るためには、学校と保護者の方々はもちろん、地域の方々を含めた大人みんなで、子どもたちが犯罪の被害にあわないように注意することが大切です。地域ぐるみで、子どもたちの安全確保にご協力くださいますようお願い致します。

しらない人についていかない		＊こういうことばに気をつけよう 「犬をいっしょにさがして」 「〇〇駅はどっちにあるの？いっしょに行ってくれない？」 「おもちゃを買ってあげるよ。いっしょに遊ぼう」
しらない人の車にのらない		＊こういうことばに気をつけよう 「おうちの人にたのまれてむかえにきたよ」 「お家の人が交通事故で病院にはこばれたよ」 「お家まで送ってあげるよ」
おおごえを出す		知らない人に連れて行かれそうになったら、大声を出して、近くの大人に助けを求めましょう。
すぐ逃げる		暴力を振るわれそうになったり、連れて行かれそうになったりしたら近くのお家やお店に逃げ込みましょう。 ＊子ども 110 番の家やかけこみ 110 番（ガソリンスタンドなど）など、どこにあるか覚えておくと良いでしょう。
何かあったらすぐしらせる		お家の人や学校の先生におこったできごとを話しましょう。 同じことが起きないようにパトロールなどを行います。

子どもの登下校時間帯の見守り

犯罪抑止にもっとも効果があるのは人の目であるといわれています。子どもたちの登下校時間に合わせて庭に出たり、犬の散歩やジョギング、買い物に行くことなどが地域における子どもたちの安全確保の第一歩となります。

午前７時から午前８時までの登校時間
午後２時から午後５時までの下校時間

＜参考文献＞　千葉県教育委員会　教育広報「夢気球」Vol.27　　平成１８年３月
市原市教育委員会　「登下校時の児童生徒の安全確保について」